

ヤマカガシ

成長すると 150 cm にもなり、体色は褐色の地に赤色や黒色、黄色のまだら模様が交互に並んでいます。

奥歯の根元から出血毒が出ます。咬（か）まれて毒が体内に入ってしまうと、血小板に作用し血が固まらなくなります。毒の強さは、ハブの 10 倍、マムシの 3 倍にもなる強いものです。おとなしい性格なので、手を出したりしなければ咬まれることはありません。

主に田んぼの周辺や山地に生息しています。肉食性で、カエルやおたまじゃくし、魚を好んで食べます。

秋に交尾し、翌年の 6 月～8 月に産卵します。

富士市での現状

浮島ヶ原の田んぼや赤淵川上流、ひのきの森で確認しました。



ヤマカガシを確認したメッシュ

